

上下水道事業評価(令和2年度)

担当課

下水道建設課

1 事業情報

実施方針	I 快適な生活環境の実現	施策目標	1 生活環境の改善や河川の水質保全に努めます	施策	② 整備困難地域における下水道(汚水)整備の検討
------	--------------	------	------------------------	----	--------------------------

2 事業評価の概要

項目	内容								
施策目標	生活環境の改善や河川などの水質を保全するため、下水道(汚水)の整備が進んでいない地域においては、引き続き、下水道(汚水)の整備に取り組みます。								
施策	道路幅員が狭い場合や地下埋設物の影響などにより、下水道管を埋設する工事が難しい場所については、効率的な整備方法を検討するとともに、新工法の採用について研究します。								
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・新工法説明会等に参加し研究を進めるとともに、情報共有を行います。 ・道路工事調整会議への出席やガス事業者等の他埋設企業からの事前協議書の確認を行い、下水道管工事に支障を来たさないよう情報共有を行います。 								
期間	令和2年4月	～	令和3年3月						
予算額 決算額	予算額				決算額			執行率	
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%	
	事業費計	0	0	0	0	0	0		
	工事費	0			0				
	原材料費	0			0				
	委託料	0			0				
	賃借料	0			0				
	その他	0			0				
人件費	3,239			0			0%		

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	0千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	—		
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・道路幅員が狭い場合や地下埋設物の影響などにより、下水道管を埋設する工事が難しい場所の工法について、課内で情報共有を行いました。 ・道路工事調整会議やガス事業者等の他埋設企業からの事前協議書の確認を行い、下水道管工事に支障を来たさないよう情報共有を行いました。 			

4 終了時評価(事業の達成度)

達成状況				
事業達成度	選択			
事業達成度 C~Eの理由				

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R1	R2	R3	R4
指標名	下水道処理人口普及率	単位	%	目標値	87.6	88.0	88.4	
算出式・根拠	(下水道処理区域内人口/行政人口)×100			実績値	87.6			
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				

6 視点評価(A 予定以上 B 予定どおり C 予定以下)

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
効率性	投入した事業費に見合った成果を出せたか。	選択	説明責任	顧客やパートナー企業等の意見や苦情に真摯に対応したか。	選択
有効性	業務指標等の向上に貢献したか。	選択	組織学習	事業目的達成のため、組織学習を十分行ったか。	選択

7 総評価

総合評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
選択		選択